

# 読賣新聞

2008年(平成20年)

8月18日 月曜日

訂 宣 新 聞

31

地 域

茨城東 13 版

2008年(平成20年)8月18日(月曜日)

## 茨城

### 県東・水戸

【支局】  
 水戸 〒310-0061  
 水戸市北見町5-7  
 ☎ 029-231-3311  
 Fax 231-3390  
 メールはmito@yo  
 miuri.comへ

日立 〒317-0061  
 日立市東町1-21-7  
 ☎ 0294-22-3311

土浦 〒300-0042  
 土浦市城北町18-6  
 ☎ 029-821-0273

つくば 〒305-0033  
 つくば市東新井  
 36-15  
 ☎ 029-851-7175

【通信部】  
 鹿嶋 0299-82-1953  
 常陸太田  
 0294-72-0476

古河 0280-32-1115  
 西 0296-22-3372  
 鹿ヶ崎 0297-62-2806  
 竜ヶ崎 0297-73-1230

【購読】  
 茨城北部読売会  
 029-221-6615  
 茨城中部読売会  
 029-830-1975  
 茨城南部読売会  
 029-863-2131

【広告】水戸244-5555  
 土浦821-6432

【読売旅行】  
 水戸224-0700  
 土浦874-4100

【折込】水戸259-7777  
 つくば860-3260

## 食の専門家と

## 活性化へ活動

常陸太田市



金丸弘美さん

常陸太田市に「地域力創造アドバイザー」として、総務省から食環境ジャーナリストの金丸弘美さん(55)が派遣され、地産地消などで地域を盛り上げていく取り組みが始まった。

地域力創造アドバイザーは、自治体の地域活性化策を支援する同省の「頑張る地方応援プログラム」の一環。先進市町村で活躍して

いる職員や民間専門家が、今年度からアドバイザーとして全国11市町村に派遣され、県内では常陸太田市だけだ。

市などによると、金丸さんは食総合プロデューサーとしても全国各地で活動、食を通じた観光振興などに取り組んでいる。期間は来年2月までで、金丸さんは、すでに市内の農家や農産物

直売所などを視察した。市は、金丸さんのアドバイスを受けて、地元産の食材を使った学校給食メニューの開発に力を入れたいと考えて、25日には栄養士や生

産者らを集めて研究会を開く予定だ。また、常陸太田市産コシヒカリやブドウなどを使った新商品の開発、常陸秋そばの生産風景を紹介するテキスト「蕎麦の村の物語」を作成するなどして、地産地消や地域ブランド化を進めていくことになっている。

大久保太一市長は「金丸さんに様々なアドバイスをしてもらい、食の面からも市の特色を出していきたい。市民が特産品の特徴を言えるようになるなど、特産品を使って市を元気にしたい」と話している。